

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

所属名 健康保険課

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				H30年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
田布施町	①自立支援・介護予防・重度化防止	<p>本町は、高齢化率、高齢独居世帯及び高齢夫婦世帯の割合が全国・県平均よりも高いが、認定率は下回っており、健康な高齢者が多い。</p> <p>しかしながら、介護サービスを利用し始めた場合、加齢による衰え等に対し改善意欲がない者が多い等、利用者本人及び家族の向上心が乏しい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住民主体の集いの場の拡充 ○ 地域のサロン等の場を活用した介護予防の普及啓発 ○ 多職種連携の推進による「地域リハビリテーション活動支援事業」の充実強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援型地域ケア個別会議の実施(年3回・6ケース) ○ 住民主体の集いの場(2020年度:12ヶ所) ○ 介護予防啓発記事の広報誌掲載(年1回)、町HPへの掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援型地域ケア個別会議 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジャー、専門職の勉強会(2回) ・町サービス事業所連絡会にて説明及びグループワーク(1回) ・生活援助が規定回数を超えた事例について地域ケア個別会議を実施 ○ 介護予防 <ul style="list-style-type: none"> ・各集いの場の参加者が集まり、課題、情報交換をおこなった。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自立支援型地域ケア会議を、有効的に行う為に、関係機関との意識統一を今後もはかっていく必要がある。 ○ 集いの場については、H30年度新規立ち上げができなかった。集いの場を身近な場所で開催できるように、住民が各地域に合った集いの場を作れるよう支援していく。 ○ 啓発記事の町HPへの掲載は、HP掲載内容の全体的な見直しを進めていたこともあり、公開までには至らなかった。令和元年度中の公開を進める。
田布施町	②給付適正化	<p>認定調査票の点検及び住宅改修の点検は、職員2名により全件実施しており、ケアプラン点検は職員2名により抽出して実施している。</p> <p>「縦覧点検・医療情報との突合」は国保連合会に委託しており、「介護給付費通知」は年3回(6月、10月、2月)実施している。</p> <p>いずれの業務も職員が兼務で対応しており、年々件数が増加していく中で対応は困難さを増している。このため、委託が可能な業務については、状況に応じて委託化を進める必要がある。</p>	<p>主要5事業について、引き続き実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認定調査票の点検及び住宅改修の点検:全数 ○ ケアプランの点検:各年15件 ○ 縦覧点検・医療給付との突合:全件(委託) ○ 介護給付費通知:利用者全員に対し、年3回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 認定調査票及び住宅改修については、全件点検を行い、住宅改修の現地調査は1件実施した。 ○ ケアプランチェックについては、ケアマネジャーから直接プランの提出を受けたケアプランチェックについて、次回のケアプランの提出と経過報告の提出を受けた。 ○ 縦覧点検・医療給付との突合、介護給付費通知については、全件実施した。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○ 住宅改修 <ul style="list-style-type: none"> ・課題 識見を有する者の確保が困難である。 ・対応策 リハビリ専門職の団体等に協力を要請する必要がある。 ○ ケアプランチェック <ul style="list-style-type: none"> ・課題 自立支援を目的としたケアプランチェックは時間がかかる。 ・対応策 先進事例を参考にし、改善に取り組む。